

月刊 新翔タイムズ

第38号
新翔タイムズ
編集室
発行・熊野新聞社

「総合学科校としての本校にとってとても参考に
なる研修会だった」と振
り返る。
新翔高では、新宮商工
会議所の指導で起業家育
成に取り組み、おり、商
品開発への取り組みを通
して一人でも多くの生徒
が地元で起業し、地域に
貢献する人材となること
を願っている。



生徒による商品開発テーマに 金沢商の北村教諭招き研修 産業教育支援プロジェクト事業



北村浩之教諭

和歌山県教育センター
学びの丘が起ち上げた産
業教育支援プロジェクト
事業の一環として7月26
日、校内研修会が開か
れ、石川県立金沢商業高
等学校の北村浩之教諭に
よる起業家教育の取り組
みについて話があった。
同事業は地域に求めら
れる人材育成、地域社会
に貢献できる人材育成を
目的としている。今回の
研修会のテーマは、生徒
による商品開発に関する
もので「コンビニエンス
ストアとのお弁当の協同
開発について」を題に、
北村さんは金沢商業高に
おける弁当開発を中心
として話された。

3校の生徒18人が参加 よみかたりボランティア養成講座

「高校生よみかたりボ
ランティア事業」とは、
本を読み聞かせる活動を
通して、高校生が小学生
と交流することにより、
感動を共有し交流活動の
楽しさを味わうことに
読書の意義をより深く
体得しようとする8年前か
ら始まった事業。
このボランティアを養
成する講座が今年度は串
本古座、新宮、新翔の3
高校の生徒たち18人が参
加して、7月26、27の2

日間、新翔高で行われた。
講師は、那智勝浦町で
読み聞かせの活動をされ
ている「絵本の会」よみ
かたりボランティア養成講座
の講師、中村起代子先生、
伊藤松枝先生。絵本の持
ち方から始まり、絵本・
紙芝居を読む時の様々な
留意点など教え受け、講
義の後は、みんなの前で
実際に一人ずつ絵本を読
んで、注意するところな
ど再度確認した。



とは新翔の関係者。
修了した18人は「高校
生よみかたりボランティア
」として登録されること
になり、2学期には、
小学校へ交流活動に出か
ける予定。

目指せ！キャリアアップ

ボランティア活動



2年次「総合的な学習の時
間」の授業の一環として、夏
休みに「キャリアアップ計画
を実施することになり、その
取組の一つとして、ボランテ
ィア活動への参加を計画。今
年は10人の生徒が、みくまの
支援学校(新宮市社会福祉協
議会主催)によるボランティア
活動)、地域密着型バーデン

インターンシップ

新宮市、那智勝浦町、太地
町など25事業所の協力で7月
27日から3日間、2年生46人
のインターンシップ(就業体
験)が行われた。

インターンシップは校外の
さまざまな職場の就業体験を
通じて、学校で習得した基本
的知識や技術の成果を確認し、
仕事に必要な忍耐力や集中力、
責任感や人間関係の大切さ、
礼儀作法を実践するといった

重要な目的を持つ。
3日間を通して、生徒たちは、
働くことの尊厳、社会人とし
ての常識、仕事への興味など
を高めることができる機会と
なった。

夏休み期間中に進学を希望
している2年生50人が、総合
的な学習の時間の「夏休みキ
ャリアアップ計画」の一環と
してオープンキャンパス(学
校見学会)に参加した。来年
度に向けている進路選択にむ
けて大きな経験となった。

この計画は、自分の進路に
応じて短大・大学、専門学校
を自ら選択し、上級学校に自
ら足を運ぶもの。そこで、教
育環境、施設設備、カリキュ
ラム、教育内容等に直接触れ、
単に「情報」を得るにとどま
らず、進学意識と学習意欲の

一層の向上につながることを
目的としている。
参加した生徒は「実際に自
分の目で学校を見てまわるこ
とで、自分の進路選択に向け
て大変参考になった。これか
らの学習の励みになった」と
話し、大変意義深いものとな
った様子だった。

2年生23人が7月25日、三
重県にあるAGF鈴鹿株式会
社の工場見学を行った。2年
生の総合的な学習「キャリア
アップ計画」の一環で、自分
の進路について考えるための
取り組み。

同社に到着後、DVDによ
る会社案内を視聴し、コー
ヒーの歴史や、工場内で作ら
れている製品などについて話
を聞いた。コーヒー豆には苦
味を持つアラビカ種と酸味と
甘い香りを持つアラビカ種が
あり、それらをミックスして
製品にしており、今回はミッ
クスする前の単品豆の試飲を

AGF鈴鹿を見学
その後、身丈を整えて工
場に移動。まずはインスタン
トコーヒーが作られるライン
を見学した。AGFのインス
タントコーヒー「ブレンドイ
」はすべてこの鈴鹿工場で生産
され、一日に30万本ほど出荷
している。また、焙煎の工程
やレギュラーコーヒーの袋詰
めのラインを見学。参加した
生徒たちは、熱心に説明に耳
を傾けていた。

新翔高で水泳の国体合宿

新翔高校で8月1日か
ら8月7日までの1週
間、和歌山県水泳夏季強
化合宿が行われた。合宿
は今回で4年目。9月に
山口県で行われる国民体
育大会に出場するメン
バーを筆頭に、その他の
全国大会に参加する約30
人と、それ以外の中高生
約50人、スタッフが10人
の総勢90人が集まった。
最終強化練習のため、
1日2回のうち、多いと
きで泳ぐ距離は20キロを
超える。それだけ選手たち
は、目標に向けてチーム
全体で練習を頑張ってい
た。新翔から生徒5人、
近隣の那智中学校の生徒
も1人参加して練習に汗
を流した。新翔高関係者
は「9月の国体では、
日々の練習とこの合宿で
鍛えた成果を存分に発揮
し、チーム和歌山として
誇りを持って戦ってき
てほしい」と振り返り、
水泳練習への取り組み
み方について次のように
コメントしている。

鍛えた成果を存分に発揮
し、チーム和歌山として
誇りを持って戦ってき
てほしい」と振り返り、
水泳練習への取り組み
み方について次のように
コメントしている。

鍛えた成果を存分に発揮
し、チーム和歌山として
誇りを持って戦ってき
てほしい」と振り返り、
水泳練習への取り組み
み方について次のように
コメントしている。

鍛えた成果を存分に発揮
し、チーム和歌山として
誇りを持って戦ってき
てほしい」と振り返り、
水泳練習への取り組み
み方について次のように
コメントしている。

鍛えた成果を存分に発揮
し、チーム和歌山として
誇りを持って戦ってき
てほしい」と振り返り、
水泳練習への取り組み
み方について次のように
コメントしている。

先生の紹介 岡純平先生



4月から本校にて勤
務させて頂いておりま
す岡純平(おかじゅん
ぺい)です。担当教科
は保健体育科で、部活
は野球部の部長をさ
せて頂いています。
私は、和歌山の橋本

市出身で、和歌山県の
中で正反対にあり、一
番遠い市にあたりま
す。橋本市は大阪府と
奈良県に隣接しており
山に囲まれたところで
す。新宮は山だけだ
けでなく、海も豊か
な海もあり、豊かな自
然に囲まれた魅力ある
ところです。感じていま
す。本校に勤務させて頂
くことになるまで新宮
に訪れたことはなく、

不安な気持ちでいっぱ
いでした。教職員の方
々には、優しく接し
ていただき、助けてい
ただきながら毎日を送
っています。そして、
生徒と毎日交わすあい
さつから元気をもらっ
ています。新生活が始
まって約3カ月が経過
し、新宮での生活にも
慣れてきたと思いま
す。

私は、学生時代に、
学校生活と部活動から
礼儀・仲間の大切さ・
最後までやり遂げるこ
との大切さを学びま
す。

柔道部



組み体得しています。
武道には「心・技・
体」という言葉がよく
使われますが、本校柔
道部は、技や体をた
すら鍛えるのではなく、
柔道を通して心を鍛え
てほしいと考えていま
す。「礼に始まり、礼
に終わる」柔道は体と
からだだけでなく心か
ら鍛えるスポーツです
から、乱暴にするので
なく、試合が終わると
相手をおつかうことが重
要になり、そして勝つ
喜びや負けることの悔
しさ、努力することの
大切さを学んでいくの
です。

クラブ紹介

新翔高柔道部は現在、
1年生男子1人で活動
しています。普段の練
習は、顧問の先生とマ
ンツマンで練習を行
っています。本校柔道
部は、高校から柔道
始める生徒が多く、こ
の生徒もこの夏から本
格的に練習を始めまし
た。練習は、基本的な
受け身から始まり、投
げ技である大外刈りや
体落とし、押さえ技で
ある袈裟固めや横四方
固めなど、普段の練習
でたくさん取り

進路を考えるきっかけに 中学生190人が参加し教育体験学習

中学生生徒教育体験学
習が8月5日の午前、午
後に分けて同校で行わ
れた。新宮・東牟婁地方
の12校の中学生計190人
が参加した。

その後、地域文化・建
設技術・商業の体験学習
やクラブ活動の様子が映
像で紹介され、また、校
内で活動しているクラブ
を見学するなど、中学生
たちは本校への理解をよ
り深めた様子だった。

